

科目名	国際医療支援論	担当教員	内藤順子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義

科目概要	<p>海外の医療事情を理解し、発展途上国などにおけるリハビリテーション(特に理学療法・作業療法分野)の現状を理解し、国際協力における理学療法士ならびに作業療法士の役割について考察する。世界の健康問題とグローバルヘルス(国際保健医療)における基本的理念を理解し、グローバルヘルス活動の事例を通してリハビリテーションに対する幅広い視野を持ち、国際的に貢献するための素養を深める。有資格者となった後に、こうした国際医療支援の分野に従事することを希望する者に対し、より高い動機づけとなることをねらいとしている。</p>
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的事例から、国内外のグローバルヘルス(国際保健医療)問題とその動向・現状を学ぶ。</li> <li>・理学療法士・作業療法士の国際社会における活動について理解し、今後の可能性や果たすべき役割について学ぶ。</li> </ul>

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	グローバルヘルスの理念と戦略	グローバルヘルスの理念と歴史的経緯、現状	グローバルヘルスの生まれる背景とその理念、目的、具体的戦略を理解する	
2	国際的な健康問題	健康格差、人権と倫理、人間の安全保障	国際的な健康問題とその背景要因について現状を理解する	
3	グローバルヘルス活動の実際(1)	グローバルヘルス活動の実際：各種国際機関による取り組み	国際連合、世界保健機関、国際協力機構などによるグローバルヘルスの実践的活動について学ぶ	
4	グローバルヘルス活動の実際(2)	グローバルヘルス活動の実際：各種民間組織による取り組み	民間支援団体によるグローバルヘルスの実践的活動について学ぶ	
5	貧困問題と健康	国際社会における貧困問題	世界における貧困とそれが原因となる病気や健康への影響について理解する	
6	支援活動の実際(1)	カンボジアにおけるリハビリテーション分野の支援活動	カンボジアにおける障害観念やリハビリの現状について理解する	
7	支援活動の実際(2)	チリにおけるリハビリテーション分野の支援活動、CBR(地域リハビリテーション)活動	チリにおけるリハビリの現状について理解する	
8	グローバルヘルスの課題と展望	今後のグローバルヘルスのゆくえと、そこで理学療法、作業療法士が果たすべき役割	国際的な保健医療活動において理学療法士、作業療法士がどのような役割を果たしうるか理解する	
評価方法		定期試験(80%)、課題提出(20%)		
教科図書		講義資料を配布する。		
参考図書		講義中に指示する。		
学習の準備		毎回のテーマについて下調べをすること。		
オフィスアワー		講義の前後		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				